

環境保護のための企業の取り組み

研修先企業 株式会社大林組 (P.47)

研修時期 8月18日～8月19日

教員 東京都国分寺市立第二小学校 奥沢 敦子 先生

活用方法 小学校3年生32名を対象に学級活動の授業で活用

活用した日 9月3日

■活用した企業プログラムと実施に至るまで

民間企業が、環境に対して配慮し、尽力していること(屋根面の自然光利用、窓際ゾーンの光の制御など)を活用しました。

■活用内容

【「奥沢先生の自由研究」の紹介】

大林組とは？

東京スカイツリー®の建設や虎ノ門ヒルズをつくった企業

→民間企業

しかし、大林組は「環境への配慮や安全と安心」という社会のニーズに応えるために様々な取り組みを実施していた。

①日本の研究施設としては初めて「カーボンニュートラル」を達成

→CO₂排出量を55%削減

②自然エネルギーの積極的な利用と制御

→屋根面の自然光利用、窓際ゾーンの光と熱の制御、風の利用、自然水の利用

③次世代の設備の採用

→必要な部分のみに集中して照明・空調(カードで管理)



【学習のねらい】

未来の子どもたちのために、環境を守る様々な取り組みがある。私たちにできることは何か考えよう。

■子どもたちの感想

- カードを通すだけで暖房が入ったり切れたりするのはすごいです。学校でもできたらエコな取り組みになってよいと思います。
- CO₂を減らさないといけないのは知っていたけれど、ここまでやらないと減らないということには驚きました。

■奥沢先生の感想

3年生の総合的な学習が環境についてだったので、興味をもちやすかったようでした。そして、「東京スカイツリー®」という誰もが知っている建築物を造った会社であり、免震に対する取り組みがテレビでも取り上げられているような有名な会社が、ここまで環境に心を配っていることに驚いている様子でした。また、ここまで徹底した取り組みをしなければCO₂排出量の55%削減には至らないという事実は、学校ではどのような取り組みができるかを考える、よい機会となりました。